
一人の少女

マッコリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一人の少女

【Nコード】

N7532W

【作者名】

マッコリ

【あらすじ】

ある日、ナツ達は、依頼に行く、その時に何と、死んだはずのマイナがいた！！

マイナ

（どうして？私は、普通の子だったのに、あんな力があるから？私になんかあんな力いらぬのに：必要な力に：この世界から“魔法”なくなればいいのに。そのせいで私の人生が変わった！。）

???「うん。何にしようかなあ？」

???「ルーシィ、決まったか？今回はルーシィが選ぶんだ！」

???「約束だもんね」

ルーシィ「分かってるわよ」

???「決まったか？ルーシィ」

ルーシィ「エルザ！！！！」

エルザ「そろそろ、決めた方が、家賃が払えないぞ？なあ、ナツ」

ナツ「そうだぞ！ルーシィ」

???「悩んでないでとっとと、決めろ」

ルーシィ「グレイ！！！！」

グレイ「家賃が払えなくなるぞ！！！！」

ルーシィ「どうしたらいいですかあ？ミラさん〜」

ミラ「あっ！そうだ！ちょうどいい仕事があったのよ！人を探してほしいって！！」

????「人を？探すの？」

ナツ「おお！それ良いじゃねえか！！それにしよう！！なっ！ハッピー」

ハッピー「あい！！でも、どうやって？」

ナツ「さあ…？？」

ルーシィ「アンタの鼻で何とかならないの？」

ナツ「それだ！！！」

エルザ「とにかく行くぞ！！」

グレイ「行ってくる」

ミラ「そうそう！確かね、依頼主から彼女が持っていたものを、渡してくれたの！これ使ったどうかしら？」

ナツ「そうだな！！」

ミラ「いってらっしゃい！！」

森の中

ナツ「ここに匂いがした」

ルーシィ「えっと、名前が何て名前だったけ？」

グレイ「みてねえや」

ナツ「こっちだ」

エルザ「行くぞー!!」

数分後

ナツ「いた!!」

エルザ「声をかけるぞー!!」

ルーシィ「名前が書いてないわ」

エルザ「!!!こいつは!!!」

ナツ「どうした?エルザ」

ハッピー&ナツが、駆け寄った

ナツ「!!お前!?!」

ハッピー「嘘!?!」

グレイ「なんかあったのか?!!お前!?!」

???「久しぶりだねナツ、エルザ、グレイ、ハッピー」

ナツ「生きてたのか……」

グレイ「……………お前…確か、バルカンに…殺されたんじゃない…なかったのか……」

エルザ「どうしてだ!!生きているなら、早く言ってくれれば……」

ハッピー「……………皆…心配してたんだよ……」

ルーシィ「どうしたの?皆?この子でしょ?探してる子は」

エルザ「こいつは、依頼主に渡すわけにはいかん!」

ルーシィ「何で?この子でしょ!?探してる子は」

エルザ「こいつは、ギルドへ連れて帰る!……!」

ルーシィ「ねえ、誰……?この子……」

ナツ&ハッピー&エルザ&グレイ「こいつは、マイナだ!」

事実（前書き）

マイナとは誰なのか？

そして、マイナの実事とは！？

事実

ルーシー「マイナ…って、誰…？」

マイナ「初めまして…新人さん…よね…？」

ルーシー「あっ…はい…」

マイナ「私の名前は、マイナ。マイナ・グルーズよ。よろしくね」

ナツ「お前…生きて…」

グレイ「…本当に…生きて…」

エルザ「ありえん」

ハッピー「…何で…生きてるの…？」

マイナ解説

4年前

私は、ナツと、エルザと、グレイとハッピーと、仕事に行っていたわ

その途中で、私はバルカンに投げ飛ばされた…けど、私はその投げ飛ばされた後、リオンに助けられた…そこで、私はラミアスケイルに入った。

私はそこで仕事をしていた

「昨日、夜中にラミアスケイルをやめて、森の中をさ迷っていた
そこで私は倒れてしまった

今日、目が覚めて、ナツ達の声がして、私は、起き上がった

解説終了

ナツ「そんな事が……」

エルザ「と……とにかく……こいつはギルドへ連れて帰る……!」

ルーシー「う……うん」

グレイ「行くぞ……マイナ……」

マイナ「うん……行こう……ナツ、ハッピー、私は、ギルドへ帰るんだ
よ。また、一緒に仕事しようね」

事実（後書き）

次回は、キャラクター紹介です

キャラクター紹介（前書き）

今回は、キャラクター紹介です

キャラクター紹介

名前 マイナ・クルーズ

性別 女

特徴 紺色の髪と、紺色の瞳をしている。ちなみに髪はストレート。ルーシイと長さは同じ。

設定 年齢は12歳。性格は大人しい。あまり怒らない。4年前9歳の時、仕事中にバルカンに投げ飛ばされ、行方不明になり、後から死んだとされていた。だが、本当は、あの後、リオンに助けられて、ラミアスケイルに入った。

コウズ達とは、何か関係があるらしい。だが、彼女本人は、バルカんに投げ飛ばされたせいで、記憶がない。

魔法 雷と水の魔法

以上!!

キャラクター紹介（後書き）

変更とかあったら、また書きますね!!

家族（前書き）

マイナを連れ、ナツ達は、ギルドへ戻り、マスターと再会した。
果たして皆の反応は！？

家族

ギルド

ミラ「あっ！…！ナツ達！…！お帰りなさい！…！」

エルザ「マスターは！？」

ミラ「えっ？」

エルザ「マスターはどこだ！…！！」

ミラ「いるわ…！あそこのカウンターにね」

マイナ「ミラ…！ただいま」

ミラ「…！マイナ！…！」

ざわざわ

マスター「なんじゃと！？マイナだと！」

マイナ「マスター…！私…！」

マスター「すまんかった…！生きていたのじゃな…！それなのにワシは…！本当にすまない…！」

マイナ「マスター、私、気にしてませんよ。」

マスター「!!」

マイナ「だって、こうやって私を受け入れてくれた。マスターは、フェアリーテイルの…私の親だよ…フェアリーテイルの皆は、私の家族だよ…この場所も、仲間も、皆家族だよ!!」

ルーシー「……………」

マイナ「ルーシーもね!! 私たちはもう家族なんだよ。たとえ離れていても、ずっと家族」

その時のマイナの笑顔は今まで、誰も見たこと無いほど綺麗な笑顔だった

家族（後書き）

次回予告

マイナも久しぶりに仕事をすることに！！
でも、何をすればいいの？

仕事

マイナ「ナツ！仕事行こう！！」

ナツ「おう！！何の仕事行くんだ？」

マイナ「ハコベ山へ行って、ワイバーンの鱗をとってくるんだよ」

エルザ「いいではないか！」

グレイ「行こうぜ！！！」

マイナ「ルーシイも！！！」

ルーシイ「えっ！？」

マイナ「行こう！！！」

ルーシイ「うん！！！」

ミラ「決まりね！！！！行ってらっしゃい！！！！！」

マイナ「行ってきまーす！！！」

仕事中

エルザ「はあああああ！！！」

ナツ「おらああああああ！！！！！！！」

グレイ「おりやああああ!!」

マイナ「とーーーーー!!」

ハッピー「あいさーーーーー!!」

ルーシィ「みんな…やりすぎよ!!」

仕事終了

ファンタジア前日

マイナ「いよいよ明日はファンタジアだね!!!」

ナツ「おお！忘れてた」

エルザ「ミスフェアリーコンテストもあるしな」

グレイ「マイナは出るのか？ミスフェアリーコンテスト」

マイナ「出ないよ!!!だって、ルーシィ出るでしょ？ルーシィが出たら負けちゃうし」

ルーシィ「そんなことないよ!!!マイナもいけるって!!!」

エルザ「去年は私が1位だった」

ルーシィ「2位はあたしで、3位がジユビアだったよね!!!」

マイナ「ジユビア？」

ルーシィ「フェアリーテイルの魔導士だよ!!!」

マイナ「そうだ!!!ウェンディが出たら出ようかなあ」

ウェンディ「えっ!?!私!?!出ないよ〜。まだ早いし〜」

マイナ「大丈夫よ!!!ウェンディ、私と同じ年でしょ？」

ウエンディ「たしかに…」

マイナ「だから、一緒に出よう!…」

ウエンディ「うん!」

ミスフェアリーコンテスト前編

ファンタジア当日

マイナ「うわぁー！！人が多いね〜！！」

ルーシィ「去年は大変だったわ〜」

ウエンディ「何かあったんですか？」

ルーシィ「うん…ウエンディが入る前に起こったことなんだ」

マイナ「へえ〜」

ルーシィ「ラクサスが来てね、マスターの座とか、なんとかで、勝
負してたの」

マイナ「ラクサス！？」

ルーシィ「うん。結果的に破門にされちゃったけどね…」

マイナ「そうなの…」

ウエンディ「何か、可哀想ですね…」

マイナ「うん…」

ルーシィ「あっ！！ミスフェアリーコンテストが始まっちゃっうー！！」

「マイナ」行こう！…ウエンデイ…！」

「ウエンデイ」うん…！」

ミスフェアリーコンテスト後編

マックス「今年もやって来ました!!ミスフェアリーコンテスト!
!今回は誰が優勝するのでしょうか?」

ワーーーー

マックス「まずはエントリーナンバー1!!マイナ・クルーズ!
さあ、アピールタイムだ!!」

マイナ「えっと、私雷と水の魔法が使えるので、それをアピールし
ます!!」

ワーーーー

マイナ「雷水!!」

雷の中から水が出てき、弾いた

ワーーーー

マックス「じゃあ、エントリーナンバー2!!ウエンディ・マーベ
ル!!さあ、アピールタイムだ!!」

ウエンディ「私の天竜の咆哮をします!!」

マックス「え?」

ウエンディ「天竜の咆哮!!」

ウェンディの天竜の咆哮はきれいにハートになり弾いた

ワーーーーー

マックス「…つ…次はエントリーナンバー3!!!エルザ・スカール
ット!!!さあ、アピールタイムだ!!!」

エルザ「換装!!!誘惑の鎧!!!」

エルザがセクシーになった

マックス「エントリーナンバー4!!!ルーシイ・ハート」

ルーシイ「名前は言わないで!!!」

マックス「アピールタイムだ!!!」

ルーシイ「あたし、星霊魔導士なんで、色々な星霊を出して、特技
をします!!!」

ワーーーーー

色々な星霊が出てきた

マックス「エントリーナンバー5!!!ミラジエーン!!!さあ、アピ
ールタイムだ!!!」

ミラ「今回はサタンソウルになって、色々な技を出しまーす」

マックス「サタンソウル…？」

ミラ「サタンソウル…！」

マックス「次の人は、シャルルだ…！」

シャルル「フン！」

マックス「何をしてくれるのかな？」

シャルル「私、未来が見えるの、それを試してあげるわ」

マックス「ほう」

シャルル「例えば、そのアンタ」

「オ…オレ？」

シャルル「そう。あんた。今から、奥さんが来るわ。でもね、浮気がバレてしまう」

「まさか、そんなわけ」

「アンタ、浮気したね…」

「…！あたた…！」

シャルル「フン…！」

フー…

マックス「以上で、ミスフェアリーコンテストを終わります」

わーわー

ファンタジアのパレード(前書き)

ミスフェアリーコンテストが終わったら次はファンタジアのパレードだよー！

ファンタジアのパレード

夜

パアン

パアン

ワーーーー

「ミスフェアリーコンテストに出てた女の子達だ!!」

「かわいい!!」

「あっ!!ミラジェーンだ!!」

「えっ!!あの週ソラの!？」

「エルフマンもいる!!」

「すごい!!」

「おお!!鉄竜くろがねのガジルだ!!」

「すげえ!!」

「マイナだ!!」

「可愛い!!」

「久々に見たよね〜!!」

「ああ!!マスターだ!!マスターが出てきたー!!」

「面白〜!!」

こうして、ファンタジアは終了!!無事にね

怪物倒しの仕事

マイナ「ナツ。仕事いかない？いい仕事があるんだ〜!!」

ナツ「おお!!良いな!!行こうぜ!!」

ハッピー「あいさ〜!!」

マイナ「ルーシィ達も行くよね?」

ルーシィ「うん!!」

グレイ「勿論だぜ!!」

エルザ「ああ!!!!」

ウエンディ「はい!!」

シャルル「フン!!」

ハッピー「ところで、何の仕事行くの?」

マイナ「これだよ!!」

ルーシィ「怪物を倒して、80万^{ジュエル}J?」

ウエンディ「怪物倒しかあ…大変そう…」

マイナ「皆で、力を合わせれば倒せるよ!!…」

エルザ「ルーシィ、家賃払えるな!!」

ルーシィ「うん!!」

グレイ「結構払えるよな」

ハッピー「じゃあ、行こう!!」

シャルル「そうね」

マイナ「ミラ、この仕事、行ってくる!!」

ミラ「ええ。行ってらっしゃい!!」

馬車の中

馬車の中

ナツ「うふう…気持ち悪…」

マイナ「相変わらず乗り物酔いだけは、治らないのね…」

ウエンディ「トロイアかけましようか？」

ハッピー「マイナ。どこまで行くの？」

マイナ「ああ。確かハコベ山だったよ！」

ルーシィ「ハコベ山？」

グレイ「マイナ…一応聞いておくが…怪物倒して、ワイバーン？」

マイナ「うん！そうだよ！」

エルザ「私達はこれで2回目だ…」

マイナ「えっ！？嘘！？2回目！？」

グレイ「ああ…ウエンディもだよな…」

ウエンディ「はい…」

マイナ「そうだったんだ…」

ルーシィ「でも、今回は、草を取ってくるんじゃないんでしょ？」

マイナ「うん！ワイバーンを倒すだけ！」

ルーシィ「だったら良いじゃん！報酬も良いし！」

グレイ「だな！」

マイナ「ここで降りるよ！！」

ルーシィ「まだ着いてないのに？」

マイナ「ここは、山の手前ここから、歩くの！！」

ウエンデイ「ええ！！」

ルーシィ「寒いのに！？」

マイナ「馬車はここまでしか走れないのよ」

ルーシィ「そんなあ……」

マイナ「さっ！行！っ！！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7532w/>

一人の少女

2011年11月15日23時55分発行